

令和5年度 事業報告

《 概 要 》

令和5年度は、5月の新型コロナ5類感染症への移行以来、多くの地域福祉活動が再開されましたが、長引くコロナ禍の影響により、支援を必要とする生活困窮世帯など様々な課題が浮かび上がり、区社協においては、新型コロナウイルス特例貸付など負債を抱えた世帯からの相談対応にあたってまいりました。

新たな事業としては、区保健福祉部・区民生委員児童委員協議会との共催により、乳児のいる世帯に児童委員が子育てサークル等の情報提供を行う「赤ちゃん訪問活動事業」を実施しました。

法人組織については1年間をかけ「市・区社協のあり方」について、時代に即した組織体制を協議し、地域福祉の推進を目的として令和7年4月1日に市社会福祉協議会と9区の社会福祉協議会が法人合併することを決議しました。

※以下に示す件数等はすべて令和5年度実績

1 会議の開催

【理事会】

第1回(令和5年6月8日(木))

(議事)令和4年度決算報告・令和4年度事業報告、顧問の選任
評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集
次期役員(理事及び監事)候補者の評議員会への提出議案
定時評議員会の招集・提出議案

第2回(令和5年6月23日(金))

(議事)理事長及び副理事長の選定、顧問の選任

第3回(令和5年12月11日(月))

(議事)市・区社協の法人合併について

第4回(令和6年1月15日(月))

(議事)市・区社協の法人合併について、評議員会の招集及び提出議案

第5回(令和6年3月6日(水))

(議事)吸収合併に伴う協議事項への合意、吸収合併契約の締結
令和5年度補正予算(案)、令和6年度事業計画(案)及び予算(案)
令和6年度児童館の管理運営に関する業務の受託契約(案)
令和6年度役員賠償責任保険の加入
評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集、評議員会の招集・提出議案

【評議員会】

定時評議員会:(令和5年6月23日(金))

(議事)令和4年度決算報告・令和4年度事業報告、次期役員(理事及び監事)の選任

第2回(令和6年1月30日(火))

(議事)市・区社協の法人合併について

第3回(令和6年3月18日(月))

(議事)令和5年度補正予算(案)、令和6年度事業計画(案)及び予算(案)

【評議員選任・解任委員会】

第1回(令和5年6月8日(木))

(議事)評議員の補充選任

第2回(令和6年3月6日(水))

(議事)評議員の補充選任

【市・区社協組織体制のあり方に関する区社協説明会】

(令和5年9月29日)

【歳末助け合い募金配分委員会】(令和5年11月10日(金))

(議事)副委員長・次期正副委員長の選任・令和5年度募金実績額・
歳末助け合い募金配分(案)について

【善意銀行運営委員会】(令和6年3月6日(水))

(議事)令和5年度実績及び収支見込について
令和6年度収支見込(案)及び払出計画(案)について
令和6年度運営方針について

2 広報・福祉啓発活動の実施

1) ホームページの運営とSNSでの発信 【決算額:150 千円 財源:市社協補助金等】

ホームページやX(ツイッター)等のSNSを活用し、本会の事業紹介、講座・イベント・ボランティア募集、助成金等の情報発信を行った。

① ホームページ情報発信および閲覧状況

本会情報発信回数: 51 回

ホームページ閲覧者数:延 21,261 件 (令和4年度 24,277 件/前年度比 87.5%)

1か月平均の閲覧: 1,771 件 (パソコン 33%・モバイル 65%・タブレット 1.7%)

② X(ツイッター)発信回数: 47 回

③ Facebook 発信回数: 45 回

2) 冊子「#垂水区社協★情報発信!!」の発行-

【決算額: 72 千円 財源:共募】

区内の地域福祉活動を広報するため、情報を冊子にまとめ配布した。(年1回、1,000冊発行)

(内容) こどもの居場所、ふれあい給食グループ、高齢者つどいの場、ボランティア活動 等

3) たるみ生き生き保健・福祉フェア 【決算額:15 千円 財源:共募】

高齢・障害・児童等各分野の福祉活動を広く紹介するとともに啓発を行い、また福祉活動への参加のきっかけとし開催した。

(日 時)令和5年10月7日(土)・11日(水)～13日(金)・15日(日)

(場 所)垂水区役所

(共 催)垂水区役所保健福祉課

区 分	内容(区社協の主な担当)
展示・活動紹介コーナー	区内の児童館・福祉施設・団体などの活動紹介と作品・製品の展示
ふれあいコーナー	バザーの実施(障がい福祉サービス事業所出店)
講演会	健康づくり講座(垂水鍼灸マッサージ師会)

4) たるみっこまつり 【決算額:653 千円 財源:善銀 510 千円、市受託金 143 千円】

「ふれあい区民のまつり」として神戸まつり垂水区協賛会に協力し、運営に参加するとともに、模擬店やバザーを出店する区内の福祉関係団体や障害福祉サービス事業所等の参加を支援した。

(日 時)令和5年5月27日(土) 10:00～18:00

(場 所)県立舞子公園

(内 容)ボランティアセンターブース:わなげ

児童館ブース:「玉ころがしゲーム～高得点をめざそう」

5)ポスタープリンターの利用貸出

【決算額:41 千円 財源:善銀 (売上額:11 千円)】

地域で行われる各種事業・行事の横断幕やポスターなどを安価に作成し、地域福祉活動の一助とすることを目的としてポスタープリンターを設置し利用貸出を行った。

(利用貸出数) 18 回

6)福祉教育の推進

福祉教育推進のため、車いす・高齢者疑似体験グッズ・点字板などを学校等に貸し出した。

(貸出実績)

小学校	中学校	高校	施設他	合計
21 件	1 件	1 件	7 件	30 件

3 高齢者福祉の推進

1)地域支え合い活動の推進

民生委員児童委員や友愛訪問ボランティア、あんしんすこやかセンターの地域支え合い推進員等と連携・協働しながら、地域住民による高齢者見守りや支え合い活動を進めるためのコミュニティづくりやネットワークづくりを支援した。

(小地域支え合い連絡会への出席) のべ 40 回

地域支え合い推進員連絡会の開催 年3回

2)地域支え合い推進事業

【決算額:682 千円 財源:市社協受託金】

生活支援や介護予防の推進を目指し、区社協に生活支援コーディネーターを配置し、地域コミュニティの形成・活性化を進めた。

① 資源開発

住民主体で相互に支え合えるしくみを地域で構築するために、地域情報を収集し、住民へしくみづくり等について働きかけた。

・地域資源の把握と分析

冊子「#垂水区社協★情報発信!!」の発行(再掲)

・実務者会議「協力事業者等による高齢者見守り事業に関する情報交換会」の開催

令和5年度の区地域ケア会議のテーマ「社会参加が乏しい高齢者に向けてのアプローチ」に関連し、高齢者見守りに関する協定書を神戸市と締結している協力事業者のうち、高齢者の外出先であるスーパーや金融機関等を招き、見守り体制強化に向けた連携についてあんしんすこやかセンターとともに協議した。

(日 時)令和6年1月23日(火)14:00~16:00

(場 所)垂水区役所1階大会議室

(参加者) 30 名

② ネットワーク構築

課題解決に向けて、必要な関係者同士による情報交換等を行える機会をつくり、新たな協働や役割分担が生まれるよう努めることにより、地域力の維持・向上を図ることを目指した。

・実務者会議の開催(再掲)

・ふれあい給食会実施団体向け交流会およびフードシェアの会

グループワークを実施し、活動に対する思いや心がけ・課題等について話し合い交流を深めた。また、生活協同組合コープこうべによるフードシェアの会も併せて実施し、お米をはじめたくさんの食材を配付した。

(日 時)令和5年9月6日(水)9:30~12:00

(場 所)・垂水区役所2階 健康教育室 5・6 …交流会

・垂水区役所1階大会議室 …フードシェアの会

(内 容)・グループ交流会

・フードシェアの会(生活協同組合コープこうべ)

(参加者) 21 団体 35 名

・つどいの場実施団体向け事務説明会・交流会の開催

(日 時) 令和6年2月27日(火)14:00～15:30

(場 所) 垂水区役所 3 階 302・303 会議室

(内 容) 補助金に関する事務説明会およびグループ交流会

(参加者) 20 団体 32 名

・ふれあい給食会実施団体向け事務説明会

(日 時) 令和6年3月11日(月)14:00～15:00

(場 所) 垂水区役所1階大会議室

(内 容) ふれあい給食会助成に関する事務説明会

(参加者) 29 団体 51 名

③ ニーズと取り組みのマッチング

生活支援コーディネーターが調整役となり、地域課題解決に向けて、様々な地域資源とニーズと結び付けた。

・あんしんすこやかセンター等と情報共有を行い、地域住民からのニーズに応じて、地域活動の紹介

・地域の担い手への地域資源の情報提供や提案

・交流会や研修会を実施し、担い手養成や既存の活動同士のマッチング

④ つどいの場支援事業

地域住民などによって自主的に運営されるふれあい喫茶、健康体操など高齢者の「つどいの場」を充実させることで、高齢者の介護予防と地域での支え合い体制づくりの推進を図った。

・地域の実情に応じて、結成、運営に関する助言、情報提供を行った。

・補助金申請及び実績報告の受付

神戸市つどいの場支援事業補助金申請団体 31 団体

・交流会等を実施し、継続支援を行った。

・活動状況等の実態把握、関係機関との連絡調整

3)ひとりぐらし高齢者友愛訪問ボランティア活動への支援

【決算額 5,350 千円 財源:市補助金 4,250 千円、善銀 1,100 千円】

ひとりぐらし高齢者等へ訪問や電話による見守り活動等を行っているグループに対し運営費の助成を行った。

(活動実績)

グループ数	対象高齢者数	ボランティア数	活動回数(安否確認)
220(▲2)	2,446(▲44)人	994(▲5)人	412,017(▲244)回

()内は前年度からの増減

4)ひとりぐらし高齢者ふれあい給食会活動への支援

【決算額 8,053 千円 財源:市補助金 7,293 千円、共募 760 千円】

ひとりぐらし高齢者等の閉じこもり防止やふれあい交流を目的に給食会活動を行っているグループに対し運営費の助成を行った。

(助成実績)

グループ数	延べ参加高齢者数	延べ参加ボランティア数	延べ実施回数
38	14,125(▲779)人	3,987(▲319)人	444(▲23)回

()内は前年度からの増減

- ・ふれあい給食会実施団体向け交流会およびフードシェアの会(再掲)
- ・ふれあい給食会実施団体向け事務説明会(再掲)

5)ふれあい給食活動グループへのバス旅行助成

【決算額 30 千円 財源:善銀】

善意銀行助成要綱に基づき、バス旅行を行う給食会活動グループに対し、バス 1 台につき 3 万円の経費の助成を行った。

(助成実績) 1 団体・1 台分

6)高齢者見守り調査の実施

【決算額 2,984 千円 財源:市受託金】

見守りが必要な高齢者の状況を把握するために、新たに70歳以上となった単身高齢者世帯及び75歳以上の高齢者のみとなった世帯に対し、郵送による事前調査の後、民生委員が訪問し緊急連絡先や生活状況の把握に努めた。

(令和 5 年度高齢者見守り調査郵送件数)

- ・70歳以上となった単身高齢者の方等 2,579 世帯
- ・75歳以上の高齢者のみの世帯となった方等 1,072 世帯(2,144 名)

7)たるみおたよりらぶの実施

【決算額:141千円 財源:共募】

ひとりぐらし高齢者・障がい者等の希望者に対し、ボランティアが絵手紙・切り絵など趣向をこらした手作りのカードを製作し、月1回郵送した。

(のべ送付数) 1,163 通

(のべ活動ボランティア数) 361 名

8)たるみふれあい電話の実施(テレフォンサポート事業)

【決算額:145 千円 財源:市社協補助金】

ひとりぐらし高齢者等を対象に、ボランティアが週1回電話をかけ、安否確認、孤立防止のための相談等を行った。また、ボランティア交流会を 2 回実施した。

(対象者数) 21 名 (ボランティア数) 8 名

<交流会>

第 1 回(日 時)令和 5 年 9 月 28 日(木) 11:00~12:00

(場 所) 垂水区役所 2 階健康教育室④ (参加者) 5 名

第 2 回(日 時)令和 6 年 3 月 28 日(木) 11:00~12:00

(場 所) 垂水区役所 2 階健康教育室④ (参加者) 5 名

9)車いすの貸出し

【決算額:420 千円 財源:共募】

事務局および地域福祉センター(23 ヶ所)に車いすを配備し、区民に無料で貸出しを行った。

(貸出件数)事務局貸出実績 計 249 件

(貸出期間)当日から最長 60 日間

10)エンディングノート(垂水版)の配布

「今をよりよく自分らしく生きる」ための情報を提供し、地域で安心して暮らし続けたい区民をサポートすることを目的として、善意銀行の金銭預託の払出しを受け作成したエンディングノートを配付した。

(配付実績) 1,531 冊

11)いきいき終活セミナーの開催

【決算額:160 千円 財源:市社協補助金】

もしもの時に備えて、周りの人へのメッセージとして、そして何よりも今をより良く生きるために、エンディングノートの書き方と生前整理のコツやヒントについて学ぶセミナーを開催した。

第1回「エンディングノートの書き方」

(日 時) 令和5年10月26日(木) 14:00~16:30

(場 所) 垂水区文化センター レバンテホール

(講師) 整理収納アドバイザー 竹裏由佳 氏

(参加者) 77 名

第2回「今日から始める生前整理」

(日 時) 令和5年11月2日(木) 14:00~16:30

(場 所・講師) 第1回と同じ

(参加者) 85 名

12)介護予防体操のためのプロジェクター支給事業

【決算額:54 千円 財源:善銀】

主に高齢者を対象にしたつといの場の主催者にプロジェクターを支給し、体操のDVDを利用することで専門の講師がいなくても簡単に介護予防体操ができる活動を促した。

(支給実績) 計 1グループ

4 児童福祉の推進

1)児童館の運営

【決算額:97,320 千円 財源:市社協受託金他】

市社協が指定管理者となっている児童館3施設(垂水・東垂水・星陵台)及び学童保育コーナー4施設、のびのびひろば1施設の職員雇用、人事管理、職員配置等を行い、館の運営を行った。

6月26日に、愛垂児童館と平磯児童館が移転・統合し「垂水児童館」として開設された。

社協運営児童館・学童保育コーナー利用者数等 ※「月平均」の数値は小数点以下四捨五入
利用者数(保護者等を含む)

	月平均	年度合計
垂水児童館	2,665	31,975
高丸コーナー	1,074	12,888
高丸のびのびひろば	542	6,499
東垂水児童館	1,924	23,083
福田コーナー	1,399	16,780
星陵台児童館	1,356	16,266
東舞子コーナー	1,097	13,168
ティオ舞子コーナー	821	9,853
合計	10,878	130,512
合計(児童館)	5,945	71,324
合計(コーナー)	3,294	52,689
合計(のびのびひろば)	542	6,499

学童保育登録者数

	月平均
垂水児童館	86
高丸コーナー	77
東垂水児童館	81
福田コーナー	92
星陵台児童館	77
東舞子コーナー	80
ティオ舞子コーナー	75
合計	568

学童保育延長登録者数

	月平均
垂水児童館	12
高丸コーナー	11
東垂水児童館	8
福田コーナー	17
星陵台児童館	14
東舞子コーナー	30
ティオ舞子コーナー	10
合計	102

学童保育高学年登録者数

	月平均
4年生	59
5年生	22
6年生	6
合計	87

2)区内児童館のネットワークの強化及び活動支援

【決算額:427 千円 財源:市社協受託金他】

様々な団体が運営する区内14児童館のネットワークづくりと活動支援、地域の子育て支援事業を推進した。

【研修】

①指導員・放課後児童支援員合同研修

日 程	内 容	参加者数
7月7日(金)	母子保健事業・保護者対応	58

②放課後児童支援員合同研修

日 程	内 容	参加者数
9月22日(金)	放課後児童クラブにおける安全管理・危機管理	46

③指導員研修

日 程	内 容	参加者数
11月29日(水)	児童館実践事例研究	15

【連絡会】 区内児童館合同館長会 令和6年2月29日(木) 15:30~17:00

【訪問・巡回】

内 容	回 数
情報管理・放課後児童クラブ・安全管理支援	34
その他	50
合 計	84

【区内児童館・学童保育コーナーへのイベント講師派遣事業】

【決算額:118 千円 財源:市社協補助金、共募】

垂水区ボランティアセンター等に登録している団体を児童館等に講師として派遣し、児童に対し普段と違った多様な学びや運動の機会を提供した。

内 容	回数	参加者数
すとりべリーじゃむとあそぼう	3	155
元気！わくわくキッズヨガ	3	153
ボンジュール紙芝居一座がやってくる	1	105
マジックを楽しもう	3	136
朗読をきいてみようやってみよう	4	171
お笑い 絵本朗読	2	98
おりがみであそぼう	2	52
Dance でプログラミングに挑戦!!頭と心と体で踊ろう♪	2	76
音楽って楽しいね	3	187
3B 体操 さあ楽しく体を動かしましょう	2	42
合 計	25	1,175

【子ども・子育てサポート事業の実施】

【決算額:46 千円 財源:市社協受託金】

親子遊びを中心に、あそび・交流を通して子どもと子育て家庭への支援のため、児童館の設置がない地域で「出前児童館」を実施した。

(1)名谷子育てサロン

(実施期間・回数)令和5年9月4日(月)～令和6年3月4日(月)計7回

(場 所) 名谷学童保育コーナー

(対 象) 就学前の乳幼児とその保護者

(参加者) のべ27名

(2)舞多聞子育てひろば支援

(実施日・回数)令和6年2月29日(木)1回

(場所)舞多聞地域福祉センター

(対象) 0～3歳とその保護者

(参加者) 43 名

3)子育て支援事業の実施

① 子育てコミュニティ育成事業の推進

【決算額:291 千円 財源:市社協受託金】

地域の子育てコミュニティ形成を目的に、地域が主体となり、日曜・祝日に児童館開放し行事を実施した。

(実施回数) 延べ22回(社協受託3館合計)

(内 容) 親子体操・季節行事・工作教室・室内ゲーム等

② 地域の子育てサークルへの講師派遣事業の実施

【決算額:124 千円 財源:市社協補助金】

区内の子育てサークルの活動を支援するために専門講師等を22サークルに派遣した。

(派遣実績)

内 容	回数	参加者(人)
知っとく・なっとく子どもの身体と心の育みメソッド	1	15
すとろベリーじゃむとあそぼう!	3	121
らん＊らん広場～親子で一緒に楽しいことしよう	1	19
親子ヨガ 子供のからだの軸作りとママのリラックスタイム	4	61
親子でJミックスダンス	1	21
3B 体操で楽しく体操しよう!	2	28
英語で遊ぼう! 楽しもう!	1	14
楽しいクッキング	1	18
こどもと一緒に今しか描けないアートを楽しもう!	2	42
生の音と声で楽しむお話し会	1	16
子育て応援 親子でふれあい遊び	3	67
ママカメラマンが教えるベビーのかわいい撮り方講座	2	43
合 計	22	465

③ 赤ちゃん訪問活動支援事業

児童委員が担当地域の中で希望する乳幼児を持つ家庭を把握し、訪問等を通じて保護者の孤立化や育児不安の解消を図る取り組みを進めた。

訪問	情報提供	合計件数
159 件	92 件	251 件

4) こどもの居場所支援事業の実施

① こどもの居場所立ち上げ支援

【決算額 220 千円 財源:市社協受託金】

地域住民を中心として構成される団体やNPO団体等に向けて、食事の提供や学習習慣を身につける等を目的としたこどもの居場所活動の立ち上げを提案するとともに、立ち上げや運営支援を行った。

新規立ち上げ団体	年度末時点での活動団体
5 団体	44 団体

② 垂水区社会福祉協議会 こどもの居場所づくり支援助成の実施

【決算額 775 千円 財源:市社協補助金 500 千円、共募 275 千円】

こどもの居場所団体の活動を支援し、その活動に要する経費の一部を助成することで、こどもの居場所づくりを推進した。

助成金活用団体:13 団体

③ 交流会の開催

【決算額 7 千円 財源:市社協補助金】

日頃の活動状況について情報交換し、団体同士のつながりを作る交流会を開催した。

(日 時)令和6年1月29日(月)13:30~16:00

(場 所) 垂水区役所1階大会議室

(内 容)・交流会 テーマ「団体のアピールポイント(力を入れている事)」「課題に感じている事」
「他の団体に聞いてみたい事」

・フードシェアの会(生活協同組合コープこうべ)

(参加者) 21 団体 29 名

④ こどもの居場所 MAPの発行

【決算額 80 千円 財源:市社協受託金】

区内で活動するこどもの居場所団体の活動情報を基にMAPを作成し、紙面を関係機関等へ配布した。
また、垂水区及び垂水区社会福祉協議会のホームページへMAP情報を掲載した。

⑤ ベルデ名谷こどもの居場所事業への支援

ベルデ名谷子ども会主催のこどもの居場所に対して、社会福祉法人連絡協議会と連携し、広報協力や運営支援を行った。(第3火曜日 14:30~)

5 障がい者福祉の推進

1) 垂水区地域自立支援協議会への参加

障がい者の自立と社会参加の促進を目的に、区内の障がい者福祉施設、教育・行政機関等とともに垂水区地域自立支援協議会の運営に参加した。(運営委員会、就労支援部会等)協議会の活動に参画し、情報発信や各種課題の検討を行った。

2) 障がい者福祉団体への助成

【決算額:258 千円 財源:善銀】

障がい者福祉団体の活動を支援するため、5 団体に対し、善意銀行の助成を行った。

(助成団体数) 6 団体

(助成金額) 43,000 円(1 団体あたり)

3) 障がい者福祉サービス事業所等への支援

【決算額:441 千円 財源:善銀】

区内の障がい福祉サービス事業所等に対し善意銀行から助成を行った。

(助成事業所数) 21か所

(助成金額) 21,000 円(1 事業所あたり)

また、障がい福祉サービス事業所が自主製品を販売し、働く仲間たちの工費アップを図ることを目的に、毎月1回、区役所1階ロビーにおいて「たるみアンテナショップ」を開催した。(共催:垂水区地域自立支援協議会)

4)みんなで学ぼう初めての手話講座の開催

【決算額:360 千円 財源:市社協補助金】

手話通訳ボランティア育成の一環として、垂水区聴力言語障害者福祉協会及び手話サークルたるみの協力を得て、初心者向けの手話技術講習及び聴覚障がい者との交流会を開催した。

<昼の部> 令和5年5月11日(木)～9月28日(木)(20回)10:00～12:00

受講者 29 名 修了者 28 名

<夜の部> 令和5年5月11日(木)～9月28日(木)(20回)18:45～20:45

受講者 33 名 修了者 25 名

6 ボランティア活動の推進

1)ボランティアセンターの運営

ボランティアセンターでは、ボランティア活動をしたい方(団体・個人)とボランティア活動に来てほしい方(団体・個人)を結びつけるコーディネーション、ボランティア同士の交流や情報交換、ボランティア講座の開催などボランティアの育成支援、活動の啓発、相談、ボランティア共済の受付等を行った。

また、垂水年金会館内に設置するボランティアルームを貸出し、ボランティアの会議、活動の練習や打合せ等の活動を支援した。

(運営実績)

ボランティア登録数(令和6年3月末)		ニード申込件数		マッチング数		ボランティア ルーム 利用件数
団体	個人	団体	個人	団体	個人	
552	422	109	13	177		503

(ボランティア共済受付件数) 558件 (ボランティア活動等行事保険) 214件

(ボランティアルーム稼働日) 午前:241日 午後:223日 夜間:39日

2)ボランティアセンターだより「たるたるハート」の発行 【決算額:124 千円 財源:市社協助成金】

ボランティア活動への理解を深め、参加を促進するため情報誌を発行し、ボランティア(団体・個人)やあんしんすこやかセンター等に配布した。

(内容)各種講座案内、各種助成金案内、オンラインボランティアまつり等

第153号(令和5年6月) 第154号(12月) 第155号(令和6年3月)発行

3)いかなご倶楽部(居場所事業)の開催

【決算額:59 千円 財源:市社協助成金】

活動の紹介が難しいボランティアなどを対象に、活動場所の提供と引きこもり防止などを目的のひとつとして、定期的に開催した。

(内 容) 封入作業・共同募金関係などの軽作業

(開催数) 12 回

(のべ参加者数) 70 名

4)講座・交流会等の開催

①みんなで学ぼう初めての手話講座 5-4)再掲

②学校ボランティア講座

【決算額:73 千円 財源:市社協補助金】

小中学校で支援を必要としている子どもたちの障がいについて学び、特別支援学級等の学習の見守りや付き添いをサポートするための知識・理解を深める2日間の講座を開催し、活動につなげた。

1日目「学校でのボランティアについて」

(日 時) 令和5年10月20日(金)14:00～16:00

(場 所) 垂水区役所 302・303 会議室

(講 師) 神戸市立東舞子小学校校長 鳥飼由佳氏

2日目「ボランティアを始める前に…」

(日 時) 令和5年10月27日(金)14:00～16:00

(場 所) 垂水区役所 大会議室

(講 師) あそびの工房 もくもく屋 事務局長 田川雅規氏

(延べ参加者) 36 名

③ボランティアスキルアップ講座「傾聴ボランティア講座」【決算額:56 千円 財源:市社協補助金】

(日 時) 令和5年7月21日(木)14:00～16:00

(場 所) 垂水区役所 302 会議室

(講 師) 夢こらぼ 主宰 松尾やよい氏

(参加者) 26 名(登録ボランティア)

④ シルバーパワー講座「やってみよう！ちーかつ(地域活動)！講座」【決算額:57 千円 財源:市社協補助金】

地域活動や地域でのボランティアを始めるきっかけになることを目指し、ボランティアセンター・生活支援コーディネーター・こどもの居場所担当で共同開催した。

(日 時) 令和6年2月14日(水)14:00～16:30

(場 所) 垂水区役所 1 階 大会議室

(講 師) motto ひょうご 事務局長 栗木 剛 氏

(参加者) 20 名

⑤ 「ボランティア交流会」

【決算額:116 千円 財源:共募】

ボランティア同士の交流・情報交換により、活動の活性化とつながり作りのために開催した。

(日 時) 令和6年2月2日(金) 13:30～16:00

(場 所) 垂水区文化センターレバンテホール

(参加者) 70 名(登録ボランティア)

⑥ 「垂水区民スポーツの日」

【決算額:17 千円 財源:共募】

(日 時) 令和5年10月14日(土) 10:00～15:00

(内 容) 登録ボランティアの協力の下、就学前の子どもから参加できるゲーム

「チャレンジボール」のブースを共同募金の啓発を兼ねて運営

(場 所) 垂水体育館

5)ボランティアグループ助成

ボランティア活動を支援するため、ひょうごボランタリー基金の県民ボランタリー活動助成、および神戸市社会福祉協議会ボランティア基金ボランティアグループ活動助成の受付を行った。

(助成等受付実績)

	エントリー受付	申請受付
県民ボランタリー活動助成	79 件	63 件(1,260,000 円)
市社協ボランティア活動助成	—	36 件(430,000 円)

6)災害ボランティアセンター運営のための啓発活動 【決算額 10 千円 財源:市社協補助金】

県立舞子高校環境防災科3年生を対象に、災害ボランティアセンター運営のための講座を実施した。災害支援の現状や現場でのボランティアの役割について学び、災害ボランティアセンターの運営について学ぶ機会となった。また、「リソースカード」を使用し、テーマに基づいて、生徒自身で考えてもらう時間を設けた。

(日 時) 令和5年12月19日(火)8:55~11:45

(参加者) 生徒 38 名

7)KOBÉ シニア元気ポイント事業への協力

神戸市介護保険課が開催する KOBÉ シニア元気ポイントの説明会で「活動の心構え」について説明を行った。

(日 時) 令和5年4月17日(火)・6月19日(月)(2回)・8月28日(月)(2回)・9月25日(月)・11月20日(月)・1月22日(月)・2月26日(月)・3月25日(月)

(のべ参加者) 121 名

7 地域福祉の推進

1)共同募金・歳末たすけあい募金運動の推進

赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金の運動に協力するとともに、共同募金を財源とした福祉啓発事業や民間福祉活動等への助成を行った。また、期間拡大運動では兵庫県立神戸商業高校の生徒の協力のもと、たるみ観光大使「ごしまる」を使用した「ごしまる缶ボールチェーンキーホルダー」を活用した募金活動を支援した。

地元企業、株式会社レーブドゥシェフ、障害者事業所 NPO 法人こぐまくらぶ、NPO 法人ポポロ、NPO 法人ゆとり
の協力により、障害者事業所製品を活用した募金百貨店プロジェクトに協力した。

①令和5年度募金実績 7,390,523 円

(含:歳末たすけあい募金:2,322,000 円、期間拡大募金:553,736 円)

②令和5年度配分実績

a. 赤い羽根共同募金 計 3,465,799 円

(令和4年度共同募金実績が令和5年度事業費となる)

配分対象活動	対象団体数	配分額(円)	配 分 先
高齢者福祉活動費	39	901,335	高齢者ふれあい給食会、 おたよりくらぶ
児童・青少年福祉活動費	13	593,303	児童館・学童保育コーナーイベ ント講師派遣事業
ボランティア活動費	1	345,592	ボランティア情報誌発行 ボランティア交流会
障害児・者福祉活動費	1	42,000	たるみアンテナショップ
たるみ応援ハートブリッジ助成	10	1,000,000	区内 10 団体
福祉育成・援助活動費	7	583,569	ひきこもりの方の家族の居場所支 援・貸出用車いす、福祉体験ゲ ッズ、保健福祉フェア
合 計	71	3,465,799	

b. 歳末たすけあい募金 計 2,322,000 円(令和5年度募金が令和5年度事業費となる)

配分対象活動	対象地区数	配分額(円)	配 分 先
地区住民交流事業	19 地区	2,322,000	地区民生委員児童委員協議会

③明日に架ける「たるみ応援ハートブリッジ助成」の実施 【決算額:1,849 千円 財源:共募、善銀】

赤い羽根共同募金配分金と善意銀行預託金を財源に、区内の地域福祉を推進する団体を公募し厳正な公開審査の上助成した。助成金額上限 300,000 円の一般助成枠と上限 100,000 円でプレゼンテーション不要の小規模助成枠を設けた。

(一般助成)

助成団体・施設	申請額(円)	助成額(円)	助成対象事業
NPO法人KOBESジュニア ハイスクールクラブ	300,000	300,000	部活動における地域移行(青少年の 健全育成) 事業
Salt of the Earth	175,000	175,000	子どもの居場所作り 事業
非営利活動子ども支援団体 PERCHE 0+	300,000	300,000	子どもによる地域活性化促進事業
特定非営利活動法人 ポポロ	153,000	153,000	知的障害者就労支援継続支援B型 (パン製作、販売) 事業
ひみつ基地DOO-ZO	300,000	300,000	子供の居場所づくり 事業
一般社団法人こぐまの丘	300,000	252,000	就労継続支援B型事業所新設による エアコン設置 事業
ちよびぽっぽ	300,000	200,000	コミュニティカフェ 事業
toiro	300,000	169,800	ティーンズ食堂配信 事業
8 団体	2,128,000	1,849,800	

(小規模助成)

助成団体・施設	申請額(円)	助成額(円)	助成対象事業
ふれあい喫茶カムカム	55,000	50,000	ふれあい喫茶 事業
舞子婦人会	88,000	70,000	高齢者の運動機能回復支援事業
2 団体	143,000	120,000	

2)地域福祉ネットワーク事業

【決算額:750 千円 財源:市社協補助金】

地域福祉ネットワーカーを中心に、生活困窮者や社会的孤立など制度の狭間にあつて既存のサービスでは解決できない課題の解決に向けて、専門機関と連携して取り組んだ。また、地域に共通する課題については、解決に向けた仕組みづくりにも取り組んだ。

1. 個別支援の実績

①地域福祉ネットワーカーによるアウトリーチ支援

地域福祉ネットワーカーのアウトリーチ機能を活かしながら、世帯が抱える福祉課題の解決に向けて、くらし支援窓口などの関係機関とも連携しながら個別支援を行った。

新規相談 67 件 課題への支援 延べ 603 回

②生活困窮世帯への食糧支援を通じたアプローチ

食糧に困る世帯に対し、1 世帯あたり 1 回までの食糧支援を通じてアプローチし、福祉課題の解決に向けて個別支援を行った。

支援先 15 世帯

(個別支援の代表的な事例)

・生活ごみが溢れ足の踏み場もない自宅で暮らす 50 代後半の独居男性

これまでは両親が身の回りのことを全て行いながら暮らしを続けてきた。両親が施設入所・入院し独居となったことがきっかけで、生活に課題を抱える(ごみ屋敷・不衛生な身なり)状況となり地域住民より相談が入る。

訪問による本人との面談を重ねて課題整理を支援し、医療機関と連携し受診に繋ぐことが出来た。受診をしたことで特定疾患の対象になる症状の診断が出され、介護保険への申請手続きを進めていった。

地域で孤立している世帯に対し、必要な制度や暮らししていくための課題について関係機関と連携・支援の輪を広げる働きかけを行った。

2. 地域課題支援の実績

①ほっとかへんネットたるみへの参画

「ほっとかへんネットたるみ(垂水区社会福祉法人連絡協議会)」に参画し、ベルデ名谷でのふれあい喫茶などの地域公益活動に取り組んだ。また、新型コロナウイルス感染症の緩和に伴い、地域活動の再開に合わせ、活動をさらに強化できるよう区内を5つのエリアに分けた「エリア活動」を推進した。

	回数	内 容
役 員 会	12 回	定例会 (月1回開催)
全 体 会	3 回	5 月 ・令和4 年度の活動報告・決算報告 ・令和5 年度予算、事業計画 ・法人1分間スピーチ
		1 月 ・令和5 年度 第3 回実務者会議のふりかえり ・グループワーク 「エリア活動の来年度計画について具体的に検討しよう」
		3 月 ・令和5 年度決算見込み、令和6 年度事業計画・予算案 ・各部会報告 ・グループワーク
実務者会	3 回	7 月 研修「福祉なんでも相談での相談力を高めよう」 ～相談でのあるある事例(高齢・こども相談編)～ 10 月 研修「福祉なんでも相談での相談力を高めよう」 ～発達障がい・精神障がいのある方が何に生きづらさ・困難を抱えているか理解する～ 12 月 研修「垂水区における南海トラフ地震の想定とハザードマップの見方」～災害ごとのリスクと対処方法を理解する～
その他		エリアリーダー情報交換会(4回)、各部会活動(2回)、エリア活動

②ベルデ名谷こどもの居場所事業への支援

ベルデ名谷子ども会主催のこどもの居場所に対して、社会福祉法人連絡協議会と連携し、広報協力や運営支援を行った。(第3火曜日 14:30～)

月 日	参加人数	内 容
5 月 16 日(火)	16 名	新1年生紹介・学習支援
6 月 20 日(火)	24 名	七夕飾りづくり・学習支援
7 月 18 日(火)	10 名	紙ひこうき飛ばし・学習支援
9 月 19 日(火)	13 名	漫画上映・学習支援
10 月 17 日(火)	10 名	ハロウィンリース作り・学習支援
12 月 19 日(火)	16 名	春風ターシヤさん腹話術

1月16日(火)	15名	カードゲーム・学習支援
3月12日(月)	15名	ピンポンゲーム・絵本の読み聞かせ・学習支援

③「神戸さんねっと」への参画

区内のひきこもり・不登校関連の支援機関の集まり「神戸さんねっと」の定例会に参加して情報交換を行った。

3)生活困窮者支援体制強化事業

【決算額:872千円 財源:市社協補助金】

新型コロナウイルス感染症の拡大による社会活動の制約等の影響を受け、生活困窮や社会的孤立などの課題を抱える世帯が増加している。こうした福祉的課題を抱える世帯等が、安心して暮らすことができるために必要な支援と、地域内のセーフティネットの充実を通じた社会的孤立・排除の解消・予防を図ることを目的として、区社会福祉協議会における生活困窮者等の支援体制の強化を図った。事業実施にあたっては、地域福祉ネットワークや生活福祉資金相談員と連携を行った。

①「ひきこもりの方の家族の居場所」を運営(非公開で実施)

ひきこもりの方の家族への相談支援のため、カフェを貸し切り、専門職がスタッフとして居場所を運営した。カフェの雰囲気を活かし、話しやすい雰囲気づくりを心掛けた。

(日 時)原則毎月第2月曜日 または 水曜日 14:00～15:30

(場 所)カフェ「iyo(いいよ)」(社会福祉法人すいせい・就労継続支援B型事業所)

月日	参加人数	内 容
4月13日(水)	5世帯(5名)	【講義】お子さんたちに「アイメッセージ」を伝える方法
5月11日(水)	5世帯(5名)	【講義】「家族との接し方について」
6月8日(水)	2世帯(2名)	【交流会】交流会&DVD鑑賞
8月10日(木)	3世帯(3名)	【講義】障害の理解について
9月13日(水)	4世帯(4名)	【交流会】交流会+お金に関するプチ講座
10月12日(木)	4世帯(4名)	【講義】自律神経ってなあ～に ～眠れない夜ありませんか～
11月8日(水)	6世帯(6名)	【講義】ひきこもりの子を持つご家族の経験談を聞いてみよう
12月14日(水)	1世帯(1名)	【レクリエーション】香りでも楽しめるアロマで作るハンドクリーム
1月10日(水)	6世帯(6名)	家族同士の交流会【日々の感じておられること、話してみませんか】
2月8日(水)	3世帯(3名)	【レクリエーション】トーンチャイムの音色に癒しのひと時を過ごしてみませんか
3月13日(水)	5世帯(5名)	家族同士の交流会【神戸ひきこもり支援室とは?】

②区子育て支援室との連携

「要援護子育て世帯への見守り事業」を実施

垂水区子育て支援室と連携し、特に注意を必要とする要援護世帯に対し、食品提供を通じて小中学校の長期休業中の見守り訪問を行った。

(夏休み) 8月～9月 10回訪問 6世帯

(冬休み) 12月 3回訪問 3世帯

③中学校との連携

垂水中学校主催の「学校生活に不安を抱える保護者の会」への参加(年1回)

教育関係者や保護者とのつながりづくりと、社会的孤立・排除の解消・予防をめざし、保護者会へ参加。教育支援資金や不登校ひきこりのケースへの支援などの取り組みを周知した。

(日 時) 令和5年9月19日(火)15:30~17:30

(参加者) 約30名(保護者、学校関係者)

3)善意銀行の運営

広く区民から善意の金品の預託を受け、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりに寄与することを目的として、社会福祉団体や施設、地域福祉活動グループ等へ払出を行った。

(預託・払出実績)

	預託		払出	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
金 銭	39	6,009,569	53	3,896,194
物 品	27	—	14	—

※金銭預託のうち 大口寄付(30 万円以上) 故 山口正子 氏 5,489,187 円(一般預託)

① 金田・山口基金による助成

故金田恵三氏及び山口正子氏の遺贈により創設された基金を財源に、以下の活動に助成した

(払出・助成実績)

助成対象活動	対象数	助成額(円)	払出先
高 齢 者 福 祉 活 動	220 団体	1,110,000	友愛訪問ボランティアグループ
発 達 障 が い 児 支 援 助 成	1 団体	50,000	NPO 法人ふぉーらいふ
本 会 事 業 に 対 す る 払 出	—	867,394	ポスタープリンター貸出事業 給食サービスグループバス助成 高齢者見守り活動支援事業 プロジェクター支給事業 地域福祉推進助成(ハートブリッジ助成)
計		2,017,874	

② ハートブリッジ基金(北川基金)による助成

北川基金をもとに、区内の地域福祉推進のため、本会へ企画提案される事業・活動に対し助成(たるみ応援ハートブリッジ助成)した。

5 団体 469,800 円

③ 土井・上野基金による助成

元垂水区連合婦人会会長の故土井芳子氏と、元垂水地区青少年育成協議会会長の上野義夫氏からの寄付金で創設された基金をもとに、区内の青少年育成のため、本会へ企画提案される事業(活動)に対して助成した(たるみ応援ハートブリッジ助成)。

2 団体 200,000 円

④ 山内基金による助成

故山内日佐子氏の遺産により創設された山内基金を財源とし、区内の地域福祉推進に関する事業や活動に対して助成した。

(払出・助成実績)

助成対象活動	対象数	助成額(円)	払出先
地域福祉活動立ち上げ支援助成	2 団体	100,000	区内団体(構成員 3 名以上)
共同募金運動推進団体助成	1 団体	400,000	垂水区共同募金委員会
計		500,000	

⑤ 単年度実績助成

区内の自助団体、障害福祉サービス事業所、青少年育成団体に対し、善意銀行への預託実績に基づき、比例按分した額を助成した。

(払出・助成実績)

助成対象	対象数	助成額(円)	払出先
当事者団体	6 団体	258,000	障害者自助団体他
障害福祉サービス事業所	21 施設	441,000	就労継続支援 B 型事業所他
青少年団体	1 団体	10,000	垂水区子ども会連合会
計		709,000	

4) 民生委員児童委員協議会活動(正副会長研修)への支援

【決算額65 千円 財源:市社協補助金他】

垂水区民生委員児童委員協議会が実施する地区会長・副会長研修に対して助成を行った。

5) 日本語教室への助成

【決算額500 千円 財源:市社協委託金】

中国帰国者や2世・3世が多く在住する垂水区の地域福祉推進のため、神陵台ふれあいのまちづくり協議会が主催する「日本語教室」に運営助成した。

(開催回数) 43 回(毎週土曜)

(会 場) 神陵台地域福祉センター

(のべ参加者) 講師 35 名 生徒 440 名 計 475 名

8 相談・援助事業

1) 心配ごと相談所の運営

昭和 45 年から区民のよろず相談窓口として、97 日開設した。相談者は、女性が約 6 割を占める。相談内容により当会地域福祉ネットワークカーが対応、関係機関を紹介するなど、解決に向けて助言を行った。

(日 時) 毎週火・金曜日、13:30~15:30(昭和 54 年 7 月から週 2 回開設)

(場 所) 区社会福祉協議会内相談室

(相談員) 民生委員・児童委員、行政相談委員、保護司など 18 名

① 相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年計
件数	14	3	1	7	4	5	7	7	5	5	4	7	69

② 相談内容

相談内容	件数	相談内容	件数
生計	5	財産	6
住宅	6	家族	25
結婚	1	離婚	1
健康・保健・衛生	6	高齢者福祉	8
職業・生業	2	苦情	3
その他	4	障がい者福祉	2

③ 相談員研修会

(日 時) 令和5年11月27日(月)13:30～15:30

(テーマ) 「子ども・若者ケアラー(ヤングケアラー)の実状と支援」

(講 師) 神戸市子ども・若者ケアラー相談・支援窓口 担当課長 上田 智也 氏

(参加者) 17 名

2)成年後見制度事前相談室の運営協力

神戸市成年後見支援センターが開設する「成年後見制度事前相談室」の運営に協力した。

(平成25年9月開設)

(日 時) 第2・4水曜日 13:30～15:30

(場 所) 区社会福祉協議会内相談室

(相談員) 市民後見人養成研修の修了者

(相談件数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年計
件数	1	5	0	0	1	2	1	3	1	4	1	2	21

3)元気なうちの税務相談～終活・相続・遺贈寄付～ 【決算額:123千円 財源:市社協補助金】

エンディングノートや相続、遺贈寄付等に関心が高まっているため、税理士による終活相談窓口を運営した。

(日 時) 原則第3水曜日、13:30～15:30(1人約30分程度、先着4人まで、要予約)

(場 所) 区社会福祉協議会相談室 (相談員) 税理士 浜口 祐介氏

(相談件数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年計
件数	4	4	3	4	4	3	3	3	3	4	4	4	43

4)生活福祉資金貸付

低所得、障がい者世帯等の経済的な自立、在宅福祉の推進、社会参加の促進を図り、地域社会での安定した生活を支援するため、生活福祉資金貸付の相談・受付を行った。

また令和5年1月から返済が始まった「新型コロナウイルス特例貸付」に関する相談に対応した。

(貸付決定実績)

資金種別		貸付決定	
		件数	金額(円)
福祉資金(福祉費)	一時的に必要な経費	1	379,200
	エアコン・冷蔵庫購入費	3	228,000
	転宅費	0	0
教育支援資金	教育支援費	14	6,625,000
	就学支度費	21	9,600,000
総合支援資金		0	0
緊急小口資金		5	273,000
合 計		44	18,105,200

事業報告の附属明細書

令和5年度 事業報告は、社会福祉法第 45 条 32 第1項に規定する事業報告の附属明細書として記載する事項はありません。